



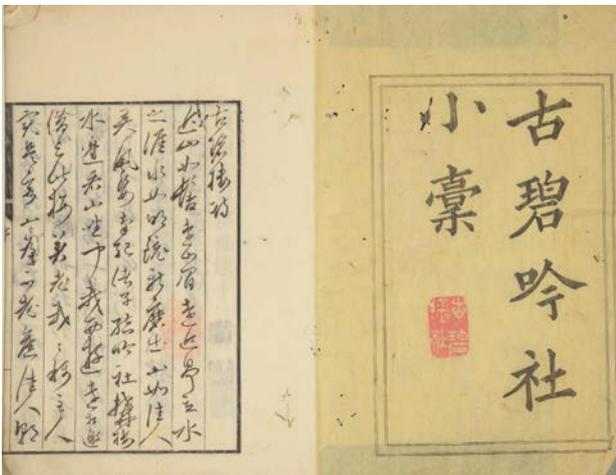
紀州湯浅図

古碧吟社

紀州藩有数の人口を抱える湯浅では、文化面での活動も盛んでした。湯浅の医師垣内己山と、商人で文化人との交流が多かった菊池海荘が創設した古碧吟社は、広川河口の景勝地にあった「古碧楼」に集い漢詩を詠んだ文学グループです。全国からも文人墨客が訪れ、地域の文化人と交流を行っていました。

湯浅の文学

古碧吟社の存在に象徴されるように、湯浅では漢詩文学が盛んでした。一方、吉峰露舟を中心とする秋琴堂社中に集う人々による俳句も活況を呈

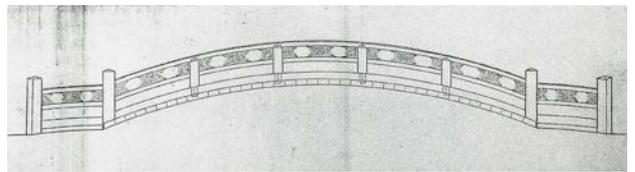


古碧吟社小藁

していたと伝えられています。

湯浅の芸術家たち

絵画においては、平林無方や馬上清江といった絵師が知られています。また、南紀男山焼の陶工・絵付師である土屋政吉（光川亭仙馬）は、明治頃の湯浅の風景を描いた『紀州湯浅図』の作者といわれています。その他、石工の西森忠兵衛は、和歌浦の不老橋の美しい勾欄を作っています。



不老橋設計図

